

# 広島市歯科医師会だより



# 1 月号

Hiroshima City Dental Association

No.153 (R2.1.15)



## 目次

謹賀新年	1 ページ
行事報告	
平成 31 年度 カーブ歯科健診	1 ページ
三師会協議懇談会	2 ページ
広島市歯科医師会第 2 回 学術講演会(シリーズ I)	2 ページ
第 7 回 広島市三師会 役員懇親ゴルフコンペ	3 ページ
令和元年度広島県歯科医師会第 3 回 保育施設での歯科疾患 及び歯科保健活動の実態調査会議	3 ページ
第 5 回 支部長・副支部長会議	4 ページ
広島市歯科医師会クリスマスパーティー	5 ページ
役員自己紹介(歌野原実監事・椿田直也監事)	6 ページ
会長コラム『柔しく剛く』	8 ページ
支部だより	
中区支部	9 ページ
東区支部	11 ページ
南区支部	11 ページ
西区支部	12 ページ
各部からの報告	
最近の相談・苦情の実例からークラウン・ブリッジ維持管理料(補管)についてー(総務部)	15 ページ
学校の管理下の災害における歯の負傷前編「歯牙障害」について(地域歯科保健部)	15 ページ
令和元年度学校保健統計調査(速報値) ～広島県の 12 歳児 DMFT は 0.6 ～(地域歯科保健部)	17 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	17 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	20 ページ
誰もが納得！ I ♥ 広島弁じゃけえ。(広報部)	21 ページ
会員ひろば	
新入会員紹介	21 ページ
12 月定例理事会報告	22 ページ

# 謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。

会員の先生方におかれましては、令和2年の新年を迎え、つつがなく新春をお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、去年は平成から令和へと新しい時代が始まり、天皇陛下御即位を記念した慶祝行事や、ラグビーワールドカップ日本大会の成功と日本代表の活躍などで、国民の一体感を感じることができた1年であったと感じています。

本会においては、昨年6月末開催の第112回定時総会においてご承認いただきました新執行部が発足し半年が経過しました。特に、若い理事の先生方が、「柔しく剛い」広島市歯科医師会を目指して積極的に頑張ってくれています。

本年も、会長就任時にご提示した会長方針に則り、近隣の郡市地区歯科医師会や広島県歯科医師会とも調和を図りながら、執行部が力を合わせて市民・県民のお口の健康増進に努めて参ります。同時に、親睦事業を通じて会員の先生方の一体感も醸成していきたいと考えています。何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして実り多き年となりますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和2年1月吉日

(一社) 広島市歯科医師会会長 熊谷 宏

# 行事報告

## 令和元年度 カーブ歯科健診

日時：11月24日(日)午前8時

場所：マツダ Zoom-Zoom スタジアム「大会議室」

(株)広島東洋カーブの依頼を受けて標記歯科健診を行った。

今年も昨年と同様に医科健診の流れの中に組み込み、希望した選手やスタッフ合計55人を対象に、アンケート調査、口腔内診査、口腔内細菌数検査、お口に関する相談及び咬合力測定を行った。

記入してもらったアンケートを基にお口に関する相談及び口腔内診査を行った際に、口腔内カメラを用いたことでより視覚的に説明することができ、自身の口腔内への関心を高めることにつながった。また、併せて口腔内細菌数検査と咬合力測定も行い、選手からは「定期的

にかけつけ歯科医院に受診するきっかけとなった」など歯・口腔保健への関心が高まっている事が感じられた。

今後もアスリートの歯科健診を積極的に行うことで、歯・口腔を通じてアスリートの健康に対する意識向上、更にはスポーツ歯学の普及・啓発に繋げていきたいと考えている。

なお、この健診には本会地域歯科保健部の有馬隆理事、藤田友昭理事、石田一輝氏、岡田浩幸氏、豊田育星氏、中川誠氏、野坂覚氏、濱岡代枝氏、前田羊一氏、森川英彦氏及び本会会員の荒谷恭史氏が出務した。



健診の出務者

---

---

## 三師会協議懇談会

---

---

日時：11月26日(火)午後7時

場所：薬研堀「玉の」

三師会は広島市医師会、本会、広島市薬剤師会の三師会が広島市民の保健衛生の向上のために連携し協議する会で、今回松井一寛広島市長を迎え開催された。執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席した。

松井一寛市長から「広島平和の丘構想」と「高速5号

線、二葉山トンネル」についての情報提供と説明があり、松村誠広島市医師会会長、熊谷宏本会会長、野村祐仁広島市薬剤師会会長の挨拶に続き瓜生賢本会副会長の乾杯の発声で懇談会となった。

懇談会では、各会と松井市長が忌憚のない意見交換をして、大変有意義な懇談会となり閉会した。

---

---

## 広島市歯科医師会第2回

---

---

日時：12月5日(木)午後7時30分

場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

標記の会は、『一から見直す根管治療の基本術式』と題して毎月1回ずつ3回シリーズで行われる。今回は、そのシリーズIとして、『根管解剖と臨床診断』について中区開業の吉岡俊彦先生に、70人の参加者を前に御講演頂いた。

根管治療を実際に行うことについての講演の前に、まずは用語の統一や根管の解剖について知っておくことが大事であることの話があった。例えば、主根管、側枝、管間側枝、根尖分岐、イスマス、フィン、槌状根管等の種類区別や、上顎や下顎の根管数についても改めて解説があった。

歯髄疾患の審査については、打診やポケット診査、電気歯髄診等の具体的なやり方や注意点の説明があった。

また、現在の病名の診断名の付け方についても解説があった。診断は、歯髄の診断名1つ+根尖周囲組織の診断名を1つずつ組み合わせて行われているのが主流になっているとのことであった。こうすると、他の人が病変の様子を想像しやすいのである。

---

---

## 学術講演会(シリーズI)

---

---

最後に、再根管治療のリスクとベネフィットの話があり、吉岡先生自身が再根管治療に踏み切るかどうかの基準について具体的なお話があった。「病変」「再補綴の必要性」「症状」という3つの事柄についての組み合わせと「根治の質」という事柄等から判断を下すとのことだった。自分の「根治の質」を上げるために聴講者は吉岡先生の講演に聞き入っていた。

吉岡先生の講演は、多様な症例スライドや動画を用いられていて、技術の面からはもとより、その技術の裏打ちとなる文献の紹介などがあり聴講者に解りやすい為、今回も好評のうちに終わった。

次回からは、より実践的な内容になる。締切の都合上、シリーズIIである『髓腔開拓・上部形成・根管形成』は終了しているが、シリーズIIIの『根管洗浄・根管充填』は現在申込み受付中なので出席頂けると幸いである。



講演をする吉岡俊彦氏

## 第7回 広島市三師会 役員懇親ゴルフコンペ

日時：12月8日(日)午前9時30分

場所：広島カントリー倶楽部「八本松コース」

恒例の広島市三師会役員懇親ゴルフコンペが、今回は本会の主催で松井一寛広島市長をお迎えし、大規模リニューアルを終えた広島カントリー倶楽部八本松コースにて開催された。本会からは川原正照顧問、熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、谷徹範理事、藤田友昭理事の6名が参加した。

天候にも恵まれ、肌寒かったものの絶好のゴルフ日和となった。ホールロケーションが大幅に変更になった八本松コースに翻弄されながらも瓜生副会長がグロス90、ネット73.2のスコアで見事優勝。「このコンペが始まった時から毎回優勝するつもりで参加してきましたがようやく勝てました(笑)」と優勝の弁を述べた。そしてベストグロス賞は89でラウンドした川原顧問が獲得したにもかかわらず、ネットによる団体戦は医師会に惜しくも5.2打及ばず、前回に引き続き2位となった。

また、松井一寛広島市長は多忙な公務の合間にもかかわらずグロス93と好スコアで、コンペを大いに盛り上げていただいた。

今後も引き続き医師会、薬剤師会との緊密な連携と懇親を図り、良質な医療の提供、医療環境の改善などに資していく所存である。



ゴルフコンペの参加者

## 令和元年度広島県歯科医師会第3回 保育施設での歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議

日時：12月10日(火)午後7時30分

場所：県歯会館5階「504会議室」

本会議は「子どもの歯と口の健康格差解消」を目指す広島県歯科医師会の取り組みの一環として、県内保育施設における歯科疾患及び歯科保健活動の実態を明らかにすることを目的に昨年度より活動している。その本年度第3回会議が開催され、本会の有馬隆理事(学校保健担当)、濱岡代枝氏及び森川英彦氏らが出席した。

会議は上田裕次県歯会理事の挨拶で開会し、その後、加藤正昭同会議副委員長が第58回広島県歯科医学会で行った発表について報告した。続いて、有馬隆同委員長

が報告書作成の進捗を報告し、それについて協議した。同会議の調査により、例えば、広島県の保育施設に通う子ども5人のうち4人は未処置歯を有していない一方で、1人が3本の未処置歯を有しているなどの「歯と口の健康格差」の存在が明らかになっている。この解消のための方策として、歯科健診結果の有効活用、むし歯予防の取り組み、地域での連携等に関する提言を報告書に盛り込むことなどを決めた。最後に細原賢一オブザーバー(前県歯会理事)が挨拶し、閉会した。

今後、同会議は年度内の報告書完成とその県内保育施設への配布を目標として活動を継続することになっている。



会議の様子

## 第5回 支部長・副支部長会議

日時：12月18日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席した。始めに熊谷会長より「あっという間に年末と、診療で印象を採るか迷う時期となり、新執行部も半年経とうとしています。10月20日のソフトボール大会ではお疲れさまでした。本日の支部長・副支部長会ではよろしくお願いいたします。」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

### 報告

#### 中区支部

- 10月18日 幟町圏域多職種連携会議
- 10月20日 (県)健康ソフトボール大会及び懇親会
- 10月29日 中区支部説明会
- 11月11日 吉島圏域多職種連携会議小委員会
- 11月21日 ケアマネジメント会議
- 11月29日 中4班忘年会
- 11月30日 吉島圏域多職種連携会議
- 12月2日 ケアマネジメント会議
- 12月16日 ケアマネジメント会議

#### 東区支部

- 10月11日 ほおずきネット
- 10月20日 (県)健康ソフトボール大会(16名)
- 10月24日 東区地域包括支援センター運営会議およびケア会議
- 10月25日 在宅医療研修会
- 11月1日 JR広島病院緩和ケアセミナー
- 11月5日 救急蘇生講習会11月21日同行研修
- 11月23日 市民公開講座
- 12月5日 認知症けあカフェ in 戸坂城山

#### 南区支部

- 10月20日 (県)健康ソフトボール大会
- 10月24日 翠町包括圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会
- 10月27日 南区ボランティアフェスティバル
- 11月16日 南区支部学術研修会「周術期口腔ケアの効果と患者指導のポイント」  
講師 県立広島病院歯科部長 延原浩先生
- 12月3日 南区支部理事会
- 12月6日 県立広島病院 忘年会
- 12月11日 南区支部忘年会

#### 西区支部

- 10月20日 (県)健康ソフトボール大会
- 10月26日 井口台・井口圏域 在宅医療・介護関係者の連携会議
- 10月30日 西区地域保健対策協議会講演会
- 11月3日 西区民まつり
- 11月7日 己斐・己斐上圏域 医療と介護の連携意見交換会
- 11月21日 古田圏域「医療と介護の連携会議」
- 11月28日 観音圏域「医療と介護の連携会議」
- 12月1日 西区支部会忘年会

12月11日 中広圏域 医療と介護の多職種研修会

12月12日 庚午圏域 医療と介護の連携会議

## 協 議

### ①中 区

- ・2022年から後期高齢者の窓口負担が1割から2割へと変更される骨子について

・派遣会社の社保について

・年末救急医療機関における重篤患者受診の対応について

・社保の資格喪失後の受診について

### ②執行部

・だより記事について

・国保の現状について

## 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

日時：12月22日(日)正午

場所：ANAクラウンプラザホテル広島3階「オーキッド」

恒例の標記パーティーの今年の演目は「細川たかしクリスマスショー」で、会員、家族、スタッフを含め250人が出席した。

熊谷宏会長の挨拶に続き、川原正照顧問が乾杯の発声を行った。美味しいフランス料理に舌鼓を打ちながら、抽選会が始まり、豪華な景品が当たる度に歓声が上がリ会場は大いに沸いた。

その後、ショーが始まると、古希を来年に控えているとは到底思えぬ細川たかし氏の歌唱力、声量に皆圧倒され、“演歌界のレジェンド”だけに存在感抜群であった。ショーは大いに盛り上がり、終焉に向かうほど声量はヒートアップし、成功裏に終わった。

熊谷執行部で新設された厚生部で令和2年度も様々な福利厚生事業を予定しているので奮ってご参加頂きたい。



挨拶をする熊谷宏会長(左)クリスマスパーティーの様子(中央)細川たかし氏(右)

# 役員自己紹介

## 歌野原実監事

前、川原執行部に続き、令和元年6月第112回定時総会において熊谷執行部の監事を承認いただきました歌野原です。

昨年古希を迎えて政治・経済には少々興味がなくなり、ここでは私の履歴書を文章にして書きます。

昭和24年歌野原家の長男(三兄弟)として生を享け、出身地は賀茂郡(東広島市)八本松町、当時は隣家まで200~300mあるという大田舎です。小学校は地元の川上小学校、自然の中でよく遊びました。その頃のキーワードは、蝶、セミ、トンボ、ヘビ、カエル、オタマジャクシ、フナ、コイ、田植え稲刈り、れんげ草、柿、イチジクなどです。中高は修道学園、バス、汽車(当時は蒸気機関車)、市電を乗り継ぎ二時間かけて通学、勉強は家ではなく乗り物の中でした。大学は東京歯科大学で私自身は勉学に励んだつもりですが、友人は「そうでもない」との声も。

卒業後警察庁歯科に三年間お世話になり帰郷して二年後に開業しました。



トイプードルの勇君と

家族は長男は東広島市で整形外科を開業、長女は内科の勤務医、次女はまだ大学生です。次女が昨年親元を離れ今では二匹のトイプードル犬を息子、娘と思ってジャレ遊んでいます。

趣味はゴルフ、麻雀、旅行などですが、ゴルフで飛距離を出すことが体力と健康のバロメーターだと勘違いして、ブンブンまるのスイングでスコアを崩している愚かなゴルファーですが、最近では仲の良い友人と世間話をしながらスコアなど気にせず健康維持のためのウォーキングのつもりで楽しくラウンドしています。

診療は事情があり診療室を同じ施設内に移転しなければならなくなり、どうしようか悩み迷いましたが、数人の患者さんから「閉院しないでくれ」との言葉に勇気づけられ体力と気力のある限り数年頑張るつもりです。

熊谷執行部の監事として会長をはじめ役員の方と協力しあい、またある程度の距離感を保ちながら職責を全うしたいと思っていますのでよろしく願いいたします。



大分で友人とゴルフ

## 椿田直也監事

広島市歯科医師会の会員の皆様、こんにちは。監事の椿田直也でございます。1953年4月6日生まれの66歳、歯科診療に携わって41年の月日が経ちましたが、いまだにいろいろ悪戦苦闘しながら診療しております。それでは簡単に自己紹介をいたします。

小学校4、5年ごろ、日曜日になると父が朝から、日本歯科大学校歌と広島市歯科医師会歌のレコード(ソノシートだったかも)を結構大音量でかけていました。何回も聞かされ両方とも歌えるようになった



42年前に作ったラジコン機

私はそうやってだんだんと洗脳され、日本歯科大学に進学し、広島に戻って広島市歯科医師会会員になり



約50年前のサービスフォーム

ました。趣味は幅広くて、まず、中学校のときからラジコンの飛行機が大好きで大学時代まで楽しみました。その他、アマチュア無線、クラシックギター、音楽鑑賞(といってもポピュラーミュージックが主ですが)、釣り、ゴルフといろいろ手を

出しましたが、まあどれもそれほどのレベルには達しておりません。ただ、テニスだけは高校から大学まで

相当熱中し、当時はそこそこのレベルだった、と自分ひとりで思っております。あれから何十年も経ち、体力も衰え、もうテニスはしないだろうと思っていたところ、最近、某先生からぜひ一緒にもう一度テニスをしようとのことのお誘いを受けました。大学時代のダブルスのパートナーは5歳も年上で今もテニ



スをやっているようなので只今考慮中です。

現在、我が家 14年前、右端の次男が釣った78cmのシーバスでは年子の男3兄弟がみんな大学生となり他県に出ておりますが、小さいときは私と一緒によく釣りに行き、子供たちもたまには大物を仕留めました。楽しい思い出です。今はミニチュアダックスフントの「もも」が癒し犬となり、夫婦二人一応仲良く暮らしております。

最後に、新執行部の基本方針「優しく剛い広島市歯科医師会」を念頭におき、微力ながら監事の務めを果たしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



癒し犬「もも」と

令和2年が始まりました。私事になりますが、会長として迎える初めての年始は、これまでとは違った緊張感で迎えました。本年も、広島市歯科医師会の為に粉骨砕身努力したいと思いますので、宜しくお願い致します。

年始にあたり、会長就任時に提示させていただいた会長方針のタイトル、「柔(やさ)しく剛(つよ)い広島市歯科医師会を目指して」に込めた想いについて書きたいと思います。会長方針については、本だよりの令和元年7月号(第147号)に掲載させていただいております。

会長就任に際して、会務運営方針とそれを具現化するための執行部人事についてずっと考えてきました。方針については、理事、副会長を経験する中で自分の中で醸成してきたものがありましたので、それを少しずつ言葉にしていく作業でした。一方人事については、方針の一つである「若い力で、令和の時代の広島市歯科医師会の基礎づくり」に基づいて組閣を行いましたが、会長を直接的にサポートしてくれる三役については、会務経験はもとより、人間的に信頼のできる人材にしたいと強く思い、瓜生賢副会長、能美和基専務理事をお願いしたわけですが、決まった後に私を含め

た三役全員が安田学園安田小学校の出身者であることに気が付きました。

もし、先生方またはお身内に、安田小学校・安田中学高等学校・安田女子大学のご出身者がいらしたら、この時点でお分かりだと思いますが、「柔しく剛く」は、安田学園の創立者である安田リヨウ先生が唱えられた建学の精神です。

そして、この言葉が頭に浮かんだ瞬間、私が温めてきた広島市歯科医師会への想いとこの言葉がまさに一致したのです。

安田リヨウ先生は、「柔しく、それは心づかい、気くばり、思いやり。剛く、それは、意思、知識、技術。」とおっしゃいました。

先月の当コラムでも申し上げましたが、広島市歯科医師会の基礎をなすものは、会員同士の融和と親睦であると思っています。いくら格式ばった理想論をぶっても、会員同士の仲間意識と会を愛する想いが無ければ組織は崩壊します。会員同士がお互いに思いやれるような「柔しい」会にしたいと考えています。

その上で、公益に資する一般社団法人としてのコンプライアン

会長コラム (第6回)

## 柔しく剛く

柔しく剛い広島市歯科  
医師会を目指して

熊谷 宏

スを重視することはもちろん、プロフェッションとしての自律性を有し、時代の変化に適切に対応できる組織にしなければなりません。そのためには、目的意識をもって、収益事業の充実などの知恵を絞り、財政面でも「剛い」組織にしていきたいと思っております。また、医療安全や医院経営の面から「会員を守る」ための事業を通じて、会員診療所を「剛く」していくことも必要です。

とはいうものの、まずは私自身が「柔しく剛く」なければなりません。実はこれが一番の難題です。幸い、執行部や事務局の皆さんに助けられて、なんとか順調に滑り出すことができていますが、会員の先生方からも忌憚のないご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。本年も、広島市歯科医師会執行部をよろしく願いいたします。

# 支部だより

## 中区支部

### 吉島地域包括支援センター主催「介護予防教室」

日時：11月18日(月)午前10時45分

場所：吉島集会所

吉島地域包括支援センター主催の介護予防教室が開催され、辰本将哉中区支部会員が「オーラルフレイルと口腔ケア」と題して地域住民35名に対して講演を行った。講演ではフレイルとオーラルフレイルについて説明し、両者をいかに自覚し予防することが大切であるかを伝えた。オーラルフレイル予防のためには口腔ケアが必要不可欠であるためセルフケアを中心に説明を行った。

セルフケアを器質的ケアと機能的ケアに分け、器質的セルフケアとしてブラッシング方法を一人一人実演しながら指導した後、機能的セルフケアとしてペコパンダを利用した舌のトレーニングやパタカラ運動を中心にお口の体操を行った。またオーラルフレイル予防のために地域住民

同士の交流を通じてよく話す・よく笑う・よく食べることも大切であると述べた。

最後に節目年齢歯科健診や在宅訪問歯科健診等の本会事業を紹介し講演を終えた。広島市歯科医師会の一会員として今後も地域に密着した活動を続けていく所存である。



教室の様子

### 介護予防教室「気晴らし会」

日時：11月28日(木)午後1時30分

場所：悠悠タウン江波二本松「多目的ホール」

江波地域包括支援センター主催の標記の会が開催され、尾山奈々子地域歯科保健部委員が「おいしく食事を摂り続けるために」と題して、60～70代の地域住民19名に対し講演を行った。

講演では、いつまでも自分の歯で噛むために必要なセルフケアについて具体的に説明し、かかりつけ歯科をもつことで適切な虫歯、歯周病治療や定期的なプロフェッショナルケアを受けることができることを伝えた。また、未処置歯や口腔内の不衛生がもたらすリスクにも触れ、咀嚼機能を維持、回復することの重要性を述べた。

次に、摂食嚥下機能には舌の動きが重要であることを説明し、ペコぱんだを使用した舌圧強化トレーニングや、あいうべ体操などの口腔周囲筋の体操を参加者全員で行った。日頃実践している口腔ケアの方法や効果の実感など、活発な意見交換もあった。

ほとんどの参加者がオーラルフレイルをすでに実感されていたのでフレイルに移行しないために噛む力と飲み込む力のどちらも維持強化することが、QOLの向上や健康寿命を延ばすことにつながることを理解して頂いた。

今後も地域住民への啓発活動を継続し、口腔からの健康維持に貢献していきたい。



教室の様子

## 令和元年度 中区支部第四班忘年会

日時：11月29日(金)午後8時

場所：上関芸陽

上関芸陽において、標記の会が開催された。最初に吉岡道治氏に開会の挨拶をしていただいた。その後、当班の所属であり、本年6月に就任された熊谷宏本会会長へ、尾山奈々子氏より花束の贈呈があり、挨拶を頂戴した。乾杯の音頭は、波田佳範中区支部長によって発せられた。瀬戸内の海の幸に舌鼓を打ちながら、出席者一同、令和最初の忘年会を通して、この一年を振り返った。最後に長谷川潔氏、津島隆司氏により閉会の挨拶をしていただき、来る年もさらに懇親を深め、佳き年になることを祈念した。



忘年会に参加した中区支部第四班の会員

## 第13回 吉島圏域多職種連携会議

日時：11月30日(土)午後3時

場所：吉島福祉センター

標記の会が開催された。

中区健康長寿課の森内芳恵専門員の司会進行の下、講師に前回同様、森山由香高齢者総合福祉施設「ひうな荘」リハビリ部長を迎え、「優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード～見る、話す、触れる、立つを知らう～」という演題で、講演が行われた。

今回の講演は前회가、「ユマニチュード」の入門編であったのに対して、講師による実演、参加者同士の実習など多岐にわたり、この技術のすべてを知るには時間が十分ではないが、受講したことによる、お徳感というものを感じるには十分な内容であった。

特に、「ユマニチュード」における、「見る、話す、触れる、立つ」の内容は、この技術の核の部分であり、日常の診療において一方通行の処置をしてはいないか、相手を十

分に見ているか、話すことができているか、この3点だけをみても、反省すべき点があるように思えた。また相手の緊張をほぐす意味で、相手の見える範囲で触れていくことにより、さらなる信頼関係が高まるということであった。そのことは、最初はケアに対し拒否反応の強い患者がこのことを行うことにより、ケアが行えるようになった動画においても示された。

そして最後には、寝たきりの患者が自らの意思で立ち上がろうとする動画には、感嘆せざるを得なかった。

密度の濃い講演であり、講演時間を多少超過したが、時間の長さを感じることはなかった。

なおこの会議には中区支部より波田佳範支部長、加藤千季氏、小松大造氏、辰本将哉氏、前田羊一氏の5名が出務した。



会議に出席した中区支部会員と森山由香高齢者総合福祉施設「ひうな荘」リハビリ部長(左)  
講演会の様子(右)

## 東区支部

### 認知症あカフェ in 戸坂城山「ええ町なんよ、城山」～地域でささえる認知症から

日時：12月5日(木)午後2時

場所：広島第一病院「地域交流スペース」

令和元年度認知症あカフェが標記の場所で開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会、広島市戸坂地域包括支援センター、広島市認知症地域支援委員で対象者は医師、歯科医師、看護師、介護支援専門員、民生委員、女性会他、計72名(東区支部より野村登志夫支部長)が参加した。

福田千枝広島市認知症推進委員の司会により、久保美保子広島市戸坂地域包括支援センター長の挨拶で始まった。桑原勝義南2丁目町内会長より、昨年の豪雨で一度は活動場所を失ったものの、今回の会場である広島第一病院地域交流スペースを活用し、月に1度の認知症支え合いカフェ「南2丁目にこここカフェ」を開催している紹介がなされた。また地域でネットワークを組み、実際に認知症高齢者を支えた事例が発表され、取り組んだ商店の方や民生委員、交番の警察官、隣人の方の意見や感想が話し合われ

た。次に認知症高齢者等保護情報共有サービスである「どこシル伝言板」の周知を目的とした、しるやま女性会の女子歌劇団による寸劇「どこ知るシル」が催され、会場は大いに盛り上がった。その後、グループワークを行い、認知症の人を支えるためにできることについて討論された。銀行からの参加もあり、認知症の人のお金の管理など実際に起こっている問題点などの意見も上がった。最後に松岡龍雄広島第一病院院長の総評で閉会した。



講演会の様子

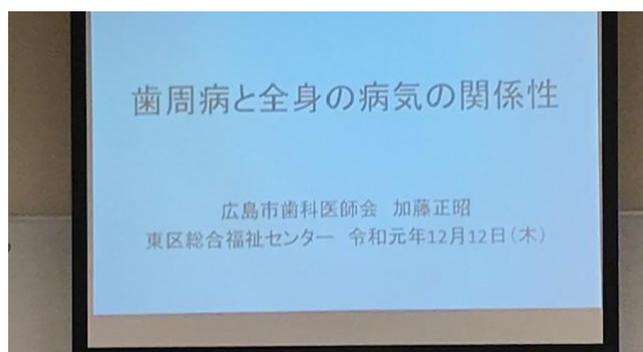
### 歯周予防教室運動と食事で元気じゃけんセミナー

日時：12月12日(木)午後1時30分

場所：東区総合福祉センター4階「ボランティア研修室」

標記の会が広島東保健センター主催で東区内在住の15名が参加して開催された。今回のセミナーは医学編、運動編に引き続く、第3回目の歯科編であり、東区支部の加藤正昭氏が、「歯周病と全身の病気の関係」と題し講演を行った。食べる楽しみを持ち続けるために、歯は大変重要な役割を担う。成人に多い歯周病は、自覚症状が出にくいという生活習慣病としての特徴を持つ。バイオフィルムを形成するプラークに対しては機械的除去が重要であることを説明した。次に動脈硬化や糖尿病、誤嚥性肺炎など、各全身疾患と歯周病との関わりについてビデオを交えた解説を行った。最後にこれからの歯周病予防には、セルフケアとプロフェッショナルケアの両方が大切であると話し

た。質疑応答では、歯科医院での歯周病の治療方法やビスホスホネート製剤の影響についての質問があった。続いて吉田純子歯科衛生士により、実践的なブラッシング指導が行われた後に閉会した。



講演会の様子

## 南区支部

### 南区支部忘年会及び長寿を祝う会

日時：12月11日(水)午後7時30分

場所：安芸茶寮

標記の会が本会から熊谷宏会長、県病院から桐山健歯科主任部長、延原浩歯科部長にご臨席賜り、31名の参加を得て行われた。

内田雄士氏の司会の下、古谷知之南区支部長の挨拶、熊谷宏本会会長の挨拶、桐山主任部長の来賓挨拶に続き、

新入会員の千田禎氏から挨拶があった後に田中政博氏より声高らかな乾杯の音頭で開宴となった。

暫く歓談の後、残念ながら全員が止む無く欠席であった田中紀生氏(米寿)、豊岡博夫氏(喜寿)、森永虎雄氏(古希)、山崎達夫氏(古希)、藤林多美子氏(古希)の長寿のお祝いの披露があった。続いて、ソフトボール大会の出場選手を代表して岡野聡氏より戦績報告と抱負が述べられ、支部より本日出席された選手全員に景品の授与が行われた。その後も和食料理に舌鼓を打ちながら親睦を深め、

最後に橋本直典南区副支部長の閉会の辞と一本締めの後、記念撮影を行い午後10時前に盛会裏にお開きとなった。



忘年会及び長寿を祝う会の出席者

## 西区支部

### 第11回 古田圏域「医療と介護の連携会議」

日時：11月21日(木)午後6時30分

場所：古田公民館2階「研修室1」

標記の会が広島市古田地域包括支援センターにより開催された。油野初音広島市古田地域包括支援センター長の開会挨拶があり、続いて井口郁雄広島市民病院耳鼻咽喉科上席主任部長より『摂食・嚥下について』という演題で講義が行われた。最初にわかりやすい資料で嚥下障害と誤嚥について紹介され 1.市民向けと専門職向けチェックシートの説明 2.藤島の分類においてグレードとレベルの違い 3.嚥下姿勢の大切さ 4.嚥下チームでの耳鼻咽喉科医の役割 5.嚥下評価の目的や方法 6.嚥下内視鏡検査(VE)の実際の動画での解説 7.医療安全の観点について 8.嚥下障害に対する外科的治療について目的と分類の解説 9.日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会、在宅医療検討委員会、広島市在宅医療・介護連携推進委員会の紹介 10.広島市民病院の摂食・嚥下・口腔ケア部会の紹介 11.栄養補助診断基準 12.嚥下パスポートについて 13.広島リハビリテーション研究会 14.認知症にみられる摂食嚥下障害への対応

(アドバイス)等々、摂食嚥下について、質、量ともに充実した講演であった。

その後「摂食・嚥下障害の支援における専門職との連携について」としてグループワークと意見交換会が行われた。その中で不顕性誤嚥を早く見つけてほしい旨が井口講師から伝えられた。また摂食嚥下について明海国賢広島大学耳鼻咽喉科同門会会長より来年連携が整うよう協議中と説明された。濱井千年世西区健康長寿課課長から閉会の挨拶があり、誤嚥性肺炎への対応について説明があり閉会された。



会議の様子

### 西区地域保健対策協議会主催「出前講座」

日時：11月28日(木)午後1時30分

場所：広島市草津老人いこいの家

標記の会が、西区地域保健対策協議会主催で開催され、濱岡代枝地域歯科保健部副委員長が、「お口の健康・ケアについて」と題して地域の高齢者10名に対して講演を行った。

講演では、まず早口言葉を参加者全員で行い、少人数ならではの和気あいあいとした雰囲気であった。健康寿命を延ばすためには、フレイルの前段階での予防が大事で、運動、食事、そして口腔の健康維持が欠かせないことを伝えた。

また、オーラルフレイルについて解説し、その予防法として、セルフケアとプロフェッショナルケアの両立で歯を守ること、口腔機能の低下をさせない口腔周囲筋の体操が大切であることをペコぱんだを用いて説明した。

参加者は健康への意識が高い方が多く、半数以上がかかりつけ歯科医院に定期的に受診している方や100歳体操に参加している方であったが、「初めて聞いたよ」「本当に口は大事よね」といった声も聞こえ、有意義な講演であった。

## 第8回 観音圏域 医療と介護の連携会議

在宅における摂食・嚥下訪問診療 経口摂取をチームで考えよう

最後まで口からたべられるように

日時：11月28日(木)午後7時

場所：生協けんこうプラザ 5階「会議室」

西区観音町の生協けんこうプラザにて、第8回観音圏域「医療と介護の連携会議」が開催され、医師、歯科医師、薬剤師、介護関係者、約70名が出席した。

山本匡西区医師会会長の開会の挨拶が行われ、講師の浜井行夫石田耳鼻咽喉科医院院長の講演が始まった。自らの体験、9年間寝たきりの母の介護、食事の工夫、排泄介助から、口から食べることの大切さの話からはじまり、嚥下機能低下が疑われる高齢者について、1.摂食・嚥下障害の原因 2.早期発見するためのポイント 3.嚥下機能の評価について 4.嚥下障害患者への対応①重度②中等度③軽度 5.在宅症例報告2例 6.広島県耳鼻科医会の取り組み、と話が進んだ。

実際の症例の現時点の問題点についてグループワークが行われ、それぞれの立場からの意見を発表した。高齢者

## 令和元年西区12月支部会・忘年会

日時：12月7日(土)午後6時30分

場所：西区己斐本町「木松旅館」

今年も標記の会が開催された。竹田芳弘西区副支部長の司会でまず12月支部例会として、新入会員2名の総会含めた報告が行われ、協議事項はなかった。その後来賓を交えた写真撮影が行われた。来賓として本会より熊谷宏会長、瓜生賢副会長ならびに能美和基専務理事をお迎えし、支部会員とともに忘年会の開始となった。熊谷会長より「広島市歯科医師会だよりをご愛読ください。高性能のプリンターを使って事務局内で印刷しています。『会長コラム』も

た。今後とも地域に根差した活動に貢献していきたいと考えている。



講演をする濱岡代枝氏

の死因、肺炎(第3位)の最大発症要因である誤嚥を予防する必要性や、歯科領域では口腔ケアの重要性を改めて感じた。

最後に平林一郎西区医師会副会長の挨拶で閉会した。なお、西区支部からは、角田達彦支部長、竹田芳弘副支部長、岡田浩幸氏、濱岡代枝氏、山崎香氏の5名が参加した。



講演をする浜井行夫石田耳鼻咽喉科医院院長

お楽しみに。そして12月22日のクリスマスパーティにご参加ください。日曜日で申し訳ありませんが、そのかわり抽選会の景品が豪華となります。最後に令和2年1月4日の新年互礼会にご参加ください。皆様にはサプライズをご用意してあります。」との挨拶があった。その後前田哲二氏の乾杯音頭で宴会が始まった。和気あいあいと話が進むうちに余興の時間となる。柄博紀氏の進行と新入会員の先生方の協力によりお待ちかね「ビンゴゲーム」となった。

最初は「リーチ」の声も上がらなかったが、そのうち「リーチ!」「ビンゴ!!」と大いに盛り上がり、豪華景品を手にした会員は上機嫌で席に戻っていった。談笑の中、午後9時過ぎに今井多聞前支部長の閉会の辞で終了した。



参加した三役と西区支部会員

### 中広圏域医療と介護の多職種研修会

日時：12月11日(水)午後7時

場所：西区民文化センター3階「大会議室 AB」

標記の会が広島市中広地域包括支援センターにより開催された。

松尾眞紀社会福祉士(同センター介護支援専門員)司会進行の元、中村直輝センター長の開会挨拶の後、総合事業の目的や考え方について、動画による説明がなされた。続いて介護予防・生活支援サービス事業について説明がなされた。要支援1・2の人、事業対象者、について利用できるサービスごとに改善事例を紹介しながら分かりやすく説明された。広島市のパンフレットも使い、事業対象者という名称についての利用条件が明確になった。続いて「Aさんの事例」～Aさんらしい生活を送るためにできること～の題名でグループワークが行われ、総合事業での新しい介護予防、通いの場の効果と拡がりについてディスカッション後、当該事例のまとめがなされた。濱井千年世西区健

康長寿課課長から、介護サービスからの「卒業者」を増やすための総合事業の理解についてと「いきいき百歳体操」の効果がでてきている旨の総評があり、炭田知宣炭田内科胃腸科病院副院長の挨拶後、閉会された。

なお、西区支部からは、角田達彦支部長、濱岡代枝氏、藤田友昭氏、山根一芳氏の4名が参加した。



研修会の様子

### 第7回 庚午圏域 医療と介護の連携会議

在宅における摂食・嚥下訪問診療 経口摂取をチームで考えよう  
最後まで口からたべられるように

日時：12月12日(木)午後7時

場所：医療法人光臨会荒木脳神経外科病院1階「リハビリテーション室」

荒木脳神経外科病院にて、標記の会が開催され、医師、歯科医師、薬剤師、介護関係者ら約60名が出席した。

網岡徹網岡内科医院院長の開会の挨拶が行われ、浜井行夫石田耳鼻咽喉科医院院長の講演が始まった。前回の「第8回 観音圏域医療と介護の連携会議」とほぼ同じ講演内容で、自らの体験、9年間寝たきりの母の介護、食事の工夫、排泄介助から、口から食べることの大切さの話からはじまり、嚥下機能低下が疑われる高齢者について  
1.摂食・嚥下障害の原因 2.早期発見するためのポイント 3.嚥下機能の評価について 4.嚥下障害患者への対

応①重度②中等度③軽度 5.在宅症例報告2例 6.広島県耳鼻科医会の取り組み と話が進んだ。

同様にグループワークが行われたが、観音圏域にもまして、様々な意見が交換され、林優美氏もグループを代表して発表された。

最後に、濱岡代枝氏の挨拶で閉会した。

なお、西区支部からは、竹田芳弘副支部長、佐久間光俊氏、豊田育星氏、濱岡代枝氏、林優美氏、宮迫隆典氏、森川英彦氏の7名が参加した。



挨拶をする濱岡代枝氏

## 各部からの報告

### 総務部

#### 最近の相談・苦情の実例から —クラウン・ブリッジ維持管理料(補管)について—

本会には歯科治療等における患者からの相談・苦情が毎月数件程度寄せられていますが、その中でも「クラウン・ブリッジ維持管理料(補管)」に係るものについては当該項目が保険導入されて以来、継続的に一定数の相談がございます。

その多くは「冠を入れて2年経っていないので新しいものを作ることはできないと言われたがどうか」「2年を待たずに新しいものを入れるためには保険外の治療になる」と言われたが本当か」と言った類のものです。

ご承知のようにクラウン・ブリッジ維持管理料は、歯科点数表 M000-2 に掲げられている通り、当該所定点数には、歯冠補綴物又はブリッジを保険医療機関において装着した日から起算して2年以内に、当該保険医療機関が当該補綴部位に係る新たな歯冠補綴物又はブリッジを製作し、当該補綴物を装着した場合の歯冠修復及び欠損補綴の費用が含まれる、という取扱いです。

したがって告示に掲げられている通り、装着から2年以内になんらかの理由で再製作が必要になった場合、支

台築造・歯冠形成・印象・咬合採得・補綴物・装着料に係る費用は一切保険請求することはできません。当然、クラウン・ブリッジ維持管理料の施設基準を届出て受理された医療機関においては、再診料及び装着材料のみでの再製作が求められます。

患者に「2年が経過していないので自費の補綴物になる」等虚偽の説明を行い、医療機関の義務を逃れるような診療行為を行うことは妥当適切ではありません。今の時代、患者が調べればすぐに発覚することでもあり、監督官庁の知るところとなれば必ず大きな問題となります。

特にクラウン・ブリッジ維持管理料については、先生方がご自身で届出て受理された施設基準に基づくものですから「知らなかった」「取扱いを勘違いしていた」で済まされることはありません。

保険医として妥当適切な保険診療、請求を行うためにも、歯科点数表及び療養担当規則を再度ご確認くださいと思います。

### 地域歯科保健部

#### 学校の管理下の災害における歯の負傷 前編「歯牙障害」について

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、学校の管理下における児童生徒等の災害(負傷・疾病、障害又は死亡)に対して災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金の支給)を行っており、そのデータを「学校管理下の災害」という冊子と

第十級	14 歯以上に対し歯科補綴を加えたもの
第十一級	10 歯以上に対し歯科補綴を加えたもの
第十二級	7 歯以上に対し歯科補綴を加えたもの
第十三級	5 歯以上に対し歯科補綴を加えたもの
第十四級	3 歯以上に対し歯科補綴を加えたもの

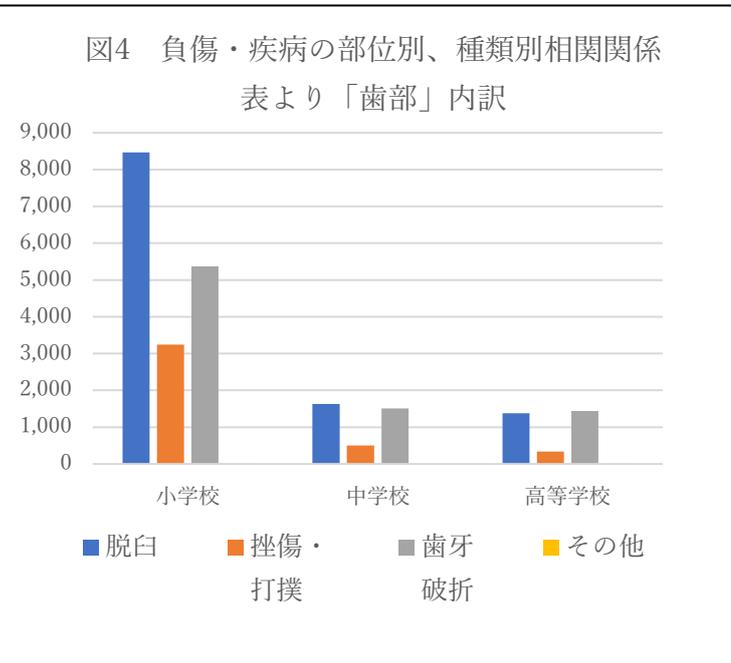
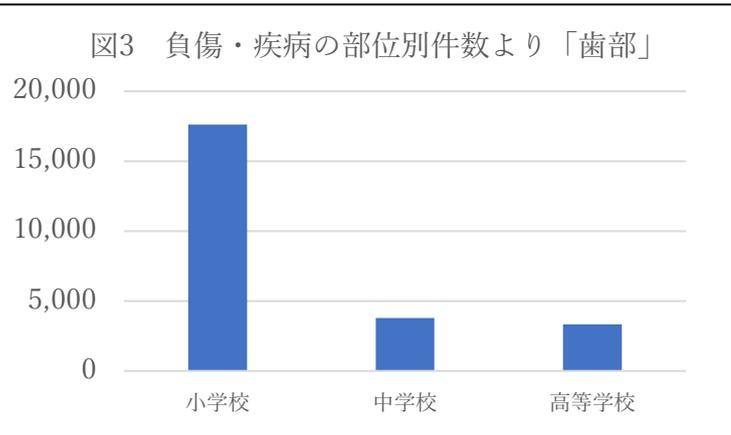
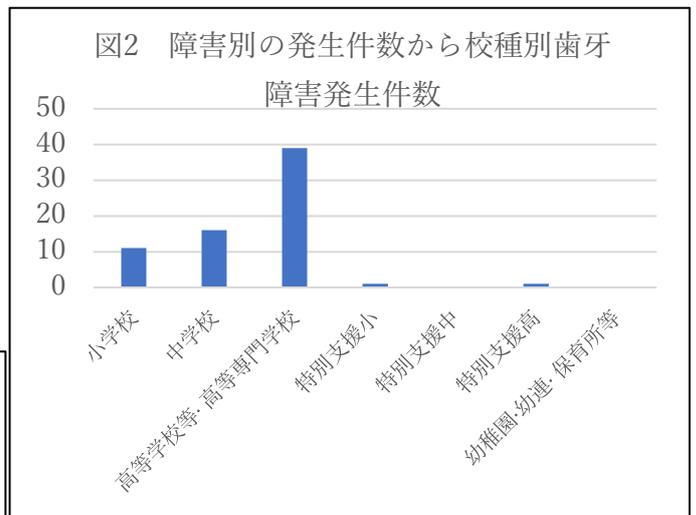
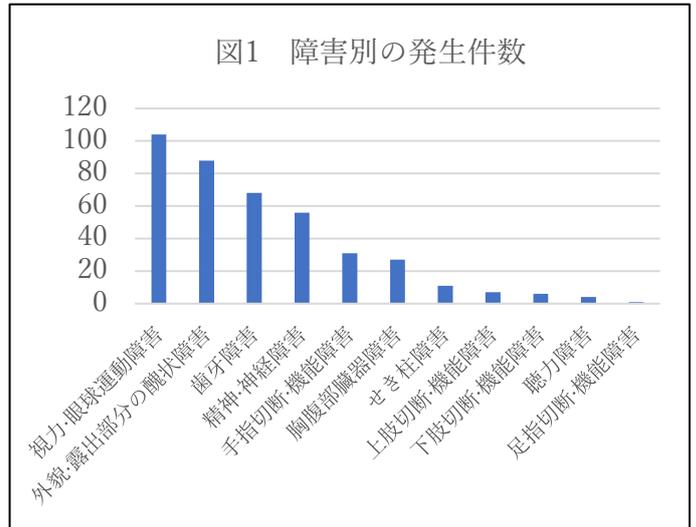
して毎年まとめています。その令和元年版(平成 30 年度分データ)が昨年 11 月に公表されました。今回はそれから「歯牙障害」に関する情報について抜粋して紹介いたします。

同センターが扱う負傷のうち、比較的軽度で負傷が治った時においても障害が存する場合、障害見舞金はその等級に応じて支給されています。歯の負傷によって生じる「歯牙障害」の等級は前頁表のように定められていますが、現状では若干緩和した運用がなされています(後術)。

平成 30 年度の障害別の見舞金給付件数において、「歯牙障害」は「視力・眼球運動障害」、「外貌・露出部の醜状障害」に次ぐ第 3 位でした(図 1)。年度により順位変動はございますが、これらが所謂、「ワースト 3」の常連となっています。

「歯牙障害」の発生件数を校種別に見ると「高等学校等・高等専門学校」が最も多いですが(図 2)、「歯の負傷」そのものは、児童数の多さも関係して、小学校での発生が圧倒的に多くなっています(図 3)。その内訳(図 4)においても、歯の負傷の 3 大症状である、脱臼、挫傷・打撲、歯牙破折のいずれもが小学校で最多です。以上を裏返すと、年齢が上がるほど受傷時の重症度が高く、歯牙障害に該当しやすくなる傾向があることが窺われます。

なお、表中の「歯科補綴を加えたもの」という用語は、歯



牙の欠損あるいは歯冠の崩壊について、欠損補綴あるいは歯冠修復を加えたものを指します。架工義歯補綴の場合、支台歯として使用された歯牙は、それが「歯科補綴を加えたもの」に該当する場合、歯科補綴を加えたものの歯数に算入します(即ち、支台歯となる歯が負傷していない場合、歯数に算入しません。例えば、1 歯欠損で健全歯である両隣在歯を支台歯として合計 3 歯への架工義歯補綴処置を行った場合、「歯牙障害」に該当しません)。ただし、切歯部において欠損補綴の適応症である歯牙が 2 歯の場合、「欠損補綴の適応症である歯牙」の両側の歯牙(隣在歯)は、それらが健全歯であっても歯科補綴を加えたものの歯数に算入することができます(=緩和運用部分)。

他にも多数の細則が定められていますので、「歯牙障害」に該当する可能性がある児童生徒等の治療にあたっては、「独立行政法人日本スポーツ振興センター障害等級認定の基準に関する規程」をご確認ください。

今回は、同冊子において、歯科関係で唯一単独区分が設定されている「歯牙破折」の発生状況、「歯牙障害」の具体例等について紹介することにしています。

# 令和元年度学校保健統計調査(速報値) ～広島県の12歳児DMFTは0.6～

昨年12月20日に文部科学省及び広島県が令和元年度学校保健統計調査(速報値)を発表しました。中学校1年生のみを調査対象とする「永久歯の一人当たりの平均むし歯等数(12歳児DMFT)」は前年比変わらずの0.6(全国値は0.70)でした。平成18年度以降、広島県は全ての年度で全国を下回ってはいますが、平成26年度以降は横ばい傾向にあります。(図1)

年齢別のう歯被患率は、例年同様、9歳をピークとするN字型を示します。今年度は全ての年齢で全国値を下回りました。この指標は平成18年度以降、減少傾向にあります。(図2)

学校種別う歯被患率は全ての校種で前年値を下回りました。中学校以外の校種は過去最少です。(図3)

歯肉炎の被患率は例年同様に小学校高学年から急速に立ち上がり、全国値を上回りました。15歳のみが全国値を下回りましたが、この学年は昨年度も歯肉炎の被患率が低かった学年です。(図4)

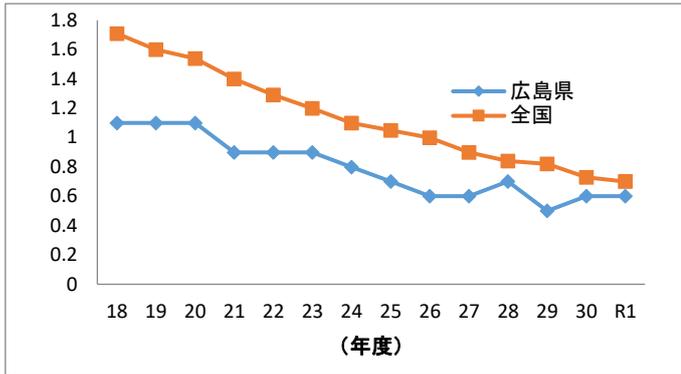


図1: 12歳児DMFTの年次推移

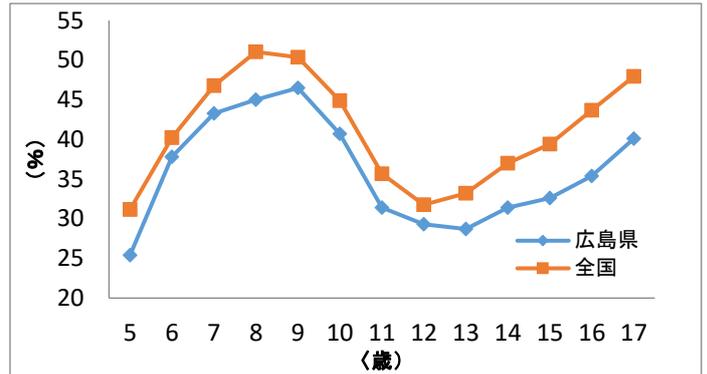


図2: う歯の被患率(年齢別 全国との比較)

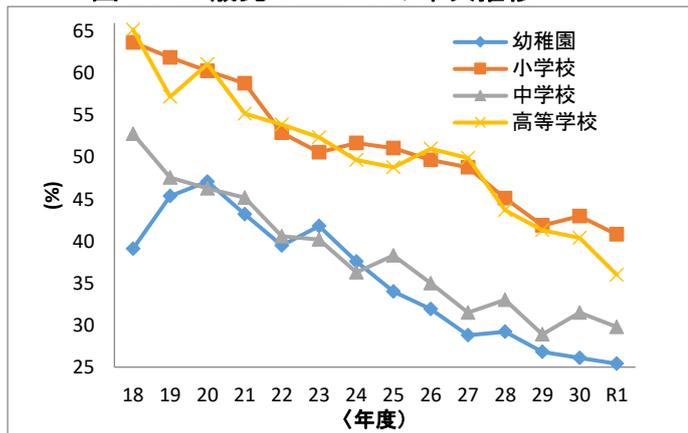


図3: 学校種別 う歯被患率の年次推移

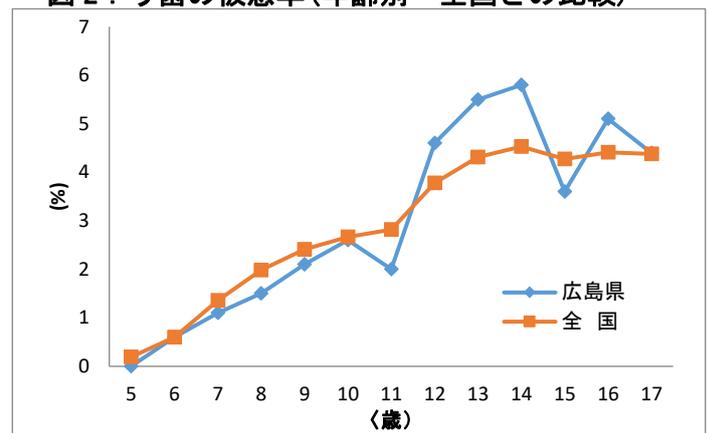


図4: 歯肉炎の被患率(年齢別 全国との比較)

## 広報部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

### 今月の知っておきたいこと

#### ▼来年度予算案を閣議決定... 過去最大の 102兆6580億円

共同通信(2019年12月20日)

<https://this.kiji.is/580564905440052321>



政府は20日、2020年度予算案を閣議決定した。一般会計の総額は102兆6580億円と8年連続で過去最大となった。当初予算として19年度に続き100兆円の大台を超えた。高等教育や幼児教育・保育の無償化など安倍政権の看板政策を推進するため、社会保障関係費が過去最高の35兆8608億円に膨張した。消費税増税に

伴う景気下支えにも引き続き1兆7788億円を積み、防衛費は6年連続で最大を更新した。消費税増税により、税収は19年度当初よりも1兆180億円多い63兆5130億円と過去最高額を見積もった。新規国債発行額は32兆5562億円に抑え、10年連続で減額した。

参考

財務省 令和2年度予算政府案

[https://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2020/seifuan2019/index.html](https://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2020/seifuan2019/index.html)

## ▼医道審議会歯科医師分科会歯科医師臨床研修部会（令和元年度第3回）



厚生労働省（2019年12月20日）

厚生労働省 医道審議会歯科医師分科会歯科医師臨床研修部会（令和元年度第3回）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_08525.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08525.html)

歯科医師臨床研修制度の改正に関するワーキンググループ報告書（案）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10804000/000578303.pdf>

## ▼2年診療報酬度改定の本体改定率は0.55%増



Web 医療と介護（2019年12月19日）

<https://info.shaho.co.jp/iryuu/trend/201912/9182>

加藤勝信厚労相と麻生太郎財務相は12月17日、令和2年度診療報酬改定率で合意した。診療報酬本体改定率は平成30年度改定と同水準の+0.55%（国費600億円）で、+0.08%を救急病院における勤務医の働き方改革への特例的な対応とした。これを除く改定率は+0.47%で、内訳は内科が+0.53%、歯科が+0.59%、調剤が+0.16%となる。

薬価は▲0.98%（国費1100億円）、うち実勢価等改定が▲0.43%（500億円）。材料価格（国費▲30億円）、うち実勢価等改定が▲0.01%（国費▲10億円）。薬価は市場拡大再算定などを含めると▲0.99%。本体改定率から薬価等を単純に差引くと0.46%のマイナス改定となる。加藤厚労相は会見で、「厳しい財政事情の中で、賃金・物価の動向や医療機関の経営状況などを勘案した」と改定率の水準を説明。また、来年度予算について、地域医療構想、医師偏在対策、医師の働き方改革の3本柱を推進するための支援を政府として着実に実施していく姿勢を強調した。勤務医の働き方改革関連では、改定率0.08%分（公費126億円）とあわせ、地域医療介護総合確保基金に公費143億円を積み増す。今後、2024年度の医師の時間外労働規制の施行と2036年度の暫定特例水準の終了に向け、診療報酬と基金での対応を検討する。地域医療構想の実現に向けては、令和2年度に限り、補助金での対応を充実させる。国費84億円を措置して、病床ダウンサイジング支援を実施する。再編・統合の再検証の対象になった424の公立・公的病院に限らず、民間病院を含め、稼働病床を10%以上削減する病院に対し補助する。令和3年度以降は、消費税財源による「医療・介護の充実」で財源確保できるよう法改正を行う予定も示した。

## ▼来年度予算案閣僚折衝「診療報酬」全体ではマイナス改定



## ニュースピックアップ

### ▼歯科技工士いなくなる？ 県内唯一、下関の養成校定員割れ続く



山口新聞 2019年11月20日

<https://www.minato-yamaguchi.co.jp/yama/e-yama/articles/2764>

全国の歯科技工士養成校で定員割れや閉校が相次いでいる。県内でも1校しかない養成校で定員割れが続き存続が危ぶまれる。高齢化が進む中で健康や生活の質を保つため

NHK NEWS WEB（2019年12月17日）

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191217/k10012218081000.html>

政府の来年度予算案の編成作業で麻生副総理兼財務大臣と各大臣による1日目の閣僚折衝が終わりました。医療機関に支払われる「診療報酬」について全体ではマイナス改定とすることなどが決まり、この結果、高齢化による社会保障費の伸びを4100億円程度に抑えることが固まりました。

### 厚労相「診療報酬」全体ではマイナス改定

17日の閣僚折衝では麻生大臣が13人の閣僚らと協議を行いました。このうち加藤厚生労働大臣との折衝では高齢化で膨らみ続ける社会保障費の抑制に向けて、医療機関に支払われる「診療報酬」などについて協議しました。その結果、「診療報酬」のうち医師の人件費や技術料などにあたる部分は0.55%引き上げる方針が決まりました。このうち通常の改定分は0.47%で、これに今回の特例的な対応として、救急病院の勤務医の働き方改革を推進する費用として0.08%が上積みされました。一方、薬の価格にあたる「薬価」の部分は材料価格も含めて1.01%引き下げることが決まり、全体ではマイナス改定とすることで決着しました。これらの結果、概算要求の段階で5300億円程度としていた、高齢化による社会保障費の伸びを圧縮し、4100億円程度に抑えることが固まりました。閣僚折衝で決まった厚生労働省関連の主な施策です。

▽病院の再編・統合や病床数の削減の議論を促すため84億円が計上されます。再編・統合をして病床を削減した病院などを対象に、自由に使える補助金を一定額支給します。

▽勤務医の働き方改革を進めるため、「地域医療介護総合確保基金」に143億円を計上するほか、診療報酬の改定で、救急医療を提供している病院などに総額126億円を措置します。

▽マイナンバーカードを健康保険証の代わりに使用できるよう、医療機関にカードの読み取り端末やシステムを整備するための費用として、768億円を計上します。

政府は2023年3月末までにおおむねすべての医療機関での利用を目指して普及を進める考えです。

加藤厚生労働大臣は閣僚折衝のあと記者会見し、診療報酬改定について「厳しい財政事情の中、病院の経営実態や賃金・物価の動向、医師の働き方改革も盛り込んだ改定ができた」と述べました。そのうえで「団塊の世代が75歳になると国庫負担や保険料の増大につながり、高齢者だけでなく若い人の負担になる。同時に将来を見据えながら必要な医療を提供していける体制を作ること大切だ。そういう中でバランスをとった改定になった」と述べました。

に歯科技工士の役割は大きく、関係者は「このままでは技工士がいなくなり歯科医療が崩壊しかねない」と危機感を募らせる。

◎山口県技工士会長によると、「国は医療費を増やしたくない。そのしわ寄せが技工士にきている」と指摘しています。技工物を作るのは非常に大変な仕事ですが、それに見合っただけの保険点数かどうか、今一度検討してみる必要があると思われます。将来、国産の技工物が高級品になり、安価な

海外産の補綴物が輸入される時代になる可能性もあるかもしれません。

## ▼「医療機関におけるキャッシュレス化」について質疑—都道府県歯専務理事連絡協議会



医療経済出版 2019年11月20日

<http://www.ikeipress.jp/archives/10219>

日本歯科医師会の都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会が11月13日、歯科医師会館で開催された。各所管より会員の日々の診療に関連する課題と、歯科医師会の対応について報告が行われ質疑を受けた。医療管理・税務関係報告では三井博晶専務理事が「医療機関におけるキャッシュレス化について」をテーマに、国が推進するキャッシュレス推進の経緯と概要を解説。

◎日本歯科医師会の見解としては、現時点では、キャッシュレス決済の導入については、「保険診療は公定価格であるため決済手数料による費用増への対応は難しい」とコメントしており、導入に際しては、さまざまな課題があるとして慎重な対応を求めるとしています。時代の流れということもあるので、指針も変化する可能性は十分あります。今後も注視していきたいと思います。

## ▼無資格治療容疑で逮捕の歯科院長不起訴に



NHK NEWS WEB 2019年11月29日

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191129/k10012196441000.html?utm\\_int=nsearch\\_contents\\_search-items\\_004](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191129/k10012196441000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_004)

歯科医師の免許がない歯科衛生士に医療行為をさせたなどとして逮捕され、その後、釈放された名古屋市の医院の院長について名古屋地方検察庁は不起訴にしました。

◎歯科医師免許の無い50歳の歯科衛生士に歯を削るなどの医療行為をさせたとして、この衛生士と歯科医師は逮捕されましたが、不起訴となったようです。しかし不起訴の理由は明らかにしていません。一方、歯科衛生士のほうはすでに起訴されています。歯科衛生士にどこまでやらせていいのか、今一度確認してみる必要があります。

## ▼薬剤耐性菌による死者、少なくとも8000人…2017年推計



yomiDr. 2019年12月6日

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191206-OYTET50020/>

菌薬(抗生物質)が効かない薬剤耐性菌による死者は2017年に国内で少なくとも8000人とする推計を国立国際医療研究センター(東京都新宿区)などの研究チームがまとめ、米科学誌(電子版)に発表した。

◎耐性菌にもたくさんの種類があり、私達が考えている以上に事態は深刻なようです。安易に抗生剤を使用する事を歯科医師としても避けなければいけません。さらには自分が患者として投与される際にも、どんな抗生剤をどれくらい処方されているのか自覚することが必要になるかもしれませんね。

## ▼心不全 細胞スプレー治療…心臓表面に吹き付け



yomiDr 2019年11月29日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191129-OYTET50014/?catname=news-kaietsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191129-OYTET50014/?catname=news-kaietsu_news)

重い心不全患者に対し、血流の改善を促す細胞を心臓の表面に吹き付けて心機能改善を図る新しい治療法「細胞スプレー法」を開発したと、大阪大などのチームが29日発表した。

◎これまでシートを張り付ける方法はあったようですが、利用には設備が必要ですべての医療機関で実施可能ではなかったとのこと。心臓表面に幹細胞をスプレーするなんて、ユニークな発想をよく考え付いたものです。これだと利用可能な施設がかなり増えるそうです。

## ▼人の臍臓をブタで作製へ、明治大年度内にも研究開始



共同通信 2019年11月30日

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191130-00000095-kyodonews-soci>

明治大の長嶋比呂志専任教授(発生工学)のチームは30日までに、人工多能性幹細胞(iPS細胞)を使ってブタの体内で臍臓をつくる研究計画を文部科学省に申請した。了承されれば年度内にも研究を開始する。

◎臨床応用には倫理的に反対意見もあるでしょうが、基礎研究が前進することに夢が広がりますね。

## ▼僻地の医療支援拡大 患者の情報、スマホで共有



産経ニュース 2019年12月4日

<https://www.sankei.com/life/news/191204/lif191204015-n1.html>

僻地(へきち)の病院から都市部の医療機関への救急搬送時に、医師がスマートフォンで患者の情報を共有できる遠隔医療システムの導入が広がっている。詳しい容体が事前に分かり、到着から治療開始までの時間を大幅に短縮できるためだ。

◎スマホは画質が鮮明で読み取りやすく、県医務課の担当者は「普段から多くの患者を受け入れている病院の働き方改革にもつながる」とのことですが、コスト面では課題が残ります。画像などをスマホで送受信するには、導入時に病院のシステムを「クラウド」につなぐ工事が必要で、接続後も毎月利用料金がかかります。しかし、現行の診療報酬制度では、診療料の上乗せはできず、報酬がつかない現状ではなかなか広がりにくいかもしれません。

## ▼ゾフルーザ服用の子供、3割から耐性ウイルス 東大チーム



産経ニュース 2019年11月26日

<https://www.sankei.com/life/news/191126/lif191126003-n1.html>

1回の服用で済む手軽さから人気のあるインフルエンザ治療薬「ゾフルーザ」を飲んだ15歳以下の患者の約3割から、薬の効かない耐性ウイルスが検出されると、東京大の河岡義裕教授と今井正樹准教授らのチームが25日付の英科学誌に発表した。通常のウイルスと同程度の病原性を持つと考えられ、河岡教授は「耐性ウイルスによっ

て熱が再び出て治癒が長引く可能性がある」と注意を呼び掛けている。

◎チームはH1N1型かH3N2型のウイルスに感染し、ゾフルーザを服用した15歳以下27人の治療の様子を調べ、うち8人から耐性ウイルスが検出されたとのこと。ゾフルーザについては、耐性ウイルスの危険性が指摘されていた中、このような結果になりました。ゾフルーザの第一選択の可能性はかなり低くなりそうです。

### ▼偽サイト、手口も巧妙に 最新の被害情報にアンテナを



中国新聞デジタル 2019年12月8日

[https://www.chugoku.co.jp/column/article/article.php?comment\\_id=593549&comment\\_sub\\_id=0&category\\_id=1060](https://www.chugoku.co.jp/column/article/article.php?comment_id=593549&comment_sub_id=0&category_id=1060)

「通販サイトで自転車を買おうとして詐欺に遭った」。そんな訴えが広島市安佐南区の40代女性から無料通信アプリLINE(ライン)で編集局に寄せられた。

◎普段からインターネットを使い慣れていても詐欺に遭い、その被害に気づかない事もあるそうです。詐欺サイトは巧妙化し、公式ショッピングサイトを模したものの他に企業公式サイトの改ざんも増えています。ネット通販をする際には自分だけは大丈夫と思わず、まずは安全かどうかの確認から必要ですね。

### ▼世界初！床ずれに効く物質発見



NHK NEWS WEB 2019年11月21日

[https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamagata/20191121/6020005389.html?fbclid=IwAR0iqV5fI3MJMISLlLe4oDEGai8HoQkGKlInn0Sw2pTQDxI8IP57o\\_9psIzQ](https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamagata/20191121/6020005389.html?fbclid=IwAR0iqV5fI3MJMISLlLe4oDEGai8HoQkGKlInn0Sw2pTQDxI8IP57o_9psIzQ)

寝たきりの人に起きやすい「床ずれ」を、半導体を作る過程でできる粉末でほぼ治すことができることを山形大学などの研究グループが発見しました。

◎高齢者の増加と共に床ずれ(褥瘡)に悩む人は増えています。今回効果が確認された「シモンコライト」を用いた新薬が一日も早く実用化されるといいですね。

### ▼魅力度1位の函館から人が消える?!



NHK NEWS WEB 2019年12月3日

[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191203/k10012200041000.html?utm\\_int=nsearch\\_contents\\_search-items\\_005](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191203/k10012200041000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_005)

年間500万人以上が訪れる函館。外国人観光客は毎年過去最多を更新し、民間の調査会社が毎年選ぶ「市町村魅力度ランキング」では、札幌や京都といった大都市を抜いて2年連続で1位を獲得。国内外から高い人気を集めています。

◎函館市から隣接する北斗市と七飯町に過去5年間で5千人以上移り住んでおり、子育て世代が全体の66%余りを占めているそうです。その理由は子どもの医療費助成制度で、隣町では高校卒業まで医療費が無料になるそうです。同様の理由で、広島市でも、医療助成制度が充実している隣の廿日市市に移住する子育て世代がいるかもしれません。

### ▼勉強・仕事・家族よりゲーム大切…平日に3時間、10～20代の20%



yomiDr 2019年11月28日

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191128-0YTET50006/?catname=news-kaisetsu\\_news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20191128-0YTET50006/?catname=news-kaisetsu_news)

若者の「ゲーム依存」に関する初めての全国実態調査の結果が27日公表され、10～29歳の5人に1人が、平日に3時間以上ゲームをしていることが分かった。

◎今やゲームはパソコン、スマホで行うものとなりました。これらは手軽に扱って他人にあまり知られない場合も多いため、いつの間にかのめり込んでしまい時間を断つのも忘れてしまう可能性があります。特にスマートフォンは場所、時間を選ばずに使用できることがゲーム依存への危険性が高いものと思われれます。

## FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



### FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第3・5水曜日午後0時50分から  
1月15日放送分

「神経を取った歯はどうなる？」  
広島市歯科医師会 中川誠氏

とても硬い歯の中には神経や血管が通っている歯髄と呼ばれる管があります。大きな虫歯ができて痛みが出てきた場合、神経を取る治療があります。その後の治療や神経の役割、お手入れなどを広島市歯科医師会の歯科医師、中川誠さんが説明します。

1月29日放送分

「母と子のお口の健康」  
広島市歯科医師会 石田一輝氏

女性にとって、妊娠・出産は人生の一大イベントです。しかし、喜びとともに不安なことも多いものです。今回はママと赤ちゃんのお口の健康のためにできることは何かを広島市歯科医師会の歯科医師、石田一輝さんが話します。

広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

## 誰もが納得！ I ♥ 広島弁じゃけえ。

### ～第3回～ ニガルって何だ??

二葉里志さんのクリニックは今日も多くのお客様が来院しており、三名の女性スタッフと二葉さんは額に汗しながらあわただしく走り回っています。二葉さんはスタッフと患者に恵まれ、広島弁のスキルも向上し、患者さんとの広島弁でのやり取りが楽しくて仕方ありません。70代の女性患者のBさんは二葉さんがクリニックを開業して以来、月一度のメンテナンスに通院する二葉さんの大ファンです。もちろん開業して間もない二葉さんにとっても大切な患者さんです。

今日はメンテナンスの予約ではありませんが朝一番の電話で予約を受けました。いつものようにチェアーに案内し、「Bさん、今日はどうされましたか？」。Bさん「先生、昨晚から上の歯がニガってやれんですワ」。(ニガル???)二葉さんの頭の中にBさんの口腔内の様子が浮かびます。(補綴物だらけだけど、欠損は無かったし...)二葉さんは真っ先に苦みの原因として食物残渣を疑います。「昨夜は何を食べましたか？」「昨夜は娘家族とフランス料理を食べに行きました」。(おいおい、いいもの食ってるじゃんか)二葉さんは口腔内を覗き込んで、鼓形空隙と補綴物のマージンに的を絞って探針で探ることにします。しかし苦みの原因は見つかりません。(うーん...毎月メンテナンスしてるし...)「ニガいの右左どちらの歯ですか？」Bさん「???先生～。ニガいいじゃなくて、痛むんです～。私がニガルって言ったのがいけませんでしたわ」続けて「ニガルって広島弁なのかしら？」

Bさんの指摘の通り広島弁で「ずしーんと鈍く痛む」ことを「ニガル」と表現します。ちょっと調べてみると、岡山県や鳥取県、香川県でも同様な使われ方をしているようですので、もっと広い範囲で使われる表現なのかもしれません。辞書によると「ニガル」は「苦る」と表記し、「にがにがしく思う、不愉快なようすをする」とあります。もしかしたら元々「苦(ク)」が仏教用語として漢字と共に中国から伝来して、大和言葉の「ニがい、ニガる」と合体して、現代のような「苦しい」「苦い」「苦る」が形成されたのかもしれませんが。それにしても「苦しい」は音読みの「ク」に読みの由来があるように感じるの私だけでしょうか？(笑)



※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。

## 会員ひろば

### 新入会員紹介



光山 素夫

広島市歯科医師会の皆様におかれましてはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させて頂きました光山素夫と申します。

広島市中区舟入で幼少期を過ごし、平成18年に松本歯科大学を卒業後、開業医での勤務を経て光山歯科医院にて同じく会員である父の光山武文とともに診療しております。

入会に際しまして、諸先生方にご助言、ご指導を賜り誠にありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

幼少の頃より親しんできた舟入で地域医療に貢献する所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

# 12月定例理事会報告

## 「部外報告」

- 12月 2日 東区行政との打合せ
- 12月 2日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 12月 6日 県立広島病院医局会主催忘年会
- 12月 7日 かかりつけ医等在宅医療推進研修会
- 12月 8日 三師会対抗ゴルフコンペ
- 12月 9日 会員面談
- 12月10日 広島テレビ取材
- 12月12日 新規個別指導立会
- 12月14日 国保連合会歯科再審査部会
- 12月15-19日 国保連合会歯科審査部会
- 12月17日 広島県歯科医師会国保組合理事会
- 12月17-23日 社会保険診療報酬支払基金審査(合議23日)
- 12月24日 アトラクトワンの打合せ
- 12月21日 (県) 参与会

## (連盟関係)

- 12月13日 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会  
2019年12月度

## (総務関係)

- 11月29日 中区支部第4班忘年会
- 12月 2日 本会上期決算報告
- 12月 4日 クリスマスパーティー配席検討会
- 12月 5日 第2回学術講演会(シリーズI)
- 12月 7日 西区支部忘年会
- 12月11日 南区支部忘年会
- 12月17日 広報部忘年会
- 12月18日 第5回支部長・副支部長会 懇親会  
協議事項
- 12月19日 広島市歯科医師会後期高齢者歯科健診  
研修会
- 12月20日 地域歯科保健部忘年会
- 12月22日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー
- 12月23日 三役会
- 12月24日 故大野正司先生弔問
- 12月25日 定例理事会  
役員忘年会

## (慶弔関係)

- 12月20日 中区支部 大野正司先生ご逝去

## (入会退会関係)

- 12月 6日 中区支部河島紘太郎先生入会
- 12月18日 入会後面談(河島紘太郎先生)
- 12月19日 中区支部本川雅英先生入会

## (県歯理事会関係)

- 12月 5日 県歯理事会

## (1) 総務部 (森本理事)

- 12月 5日 第2回学術講演会(シリーズI)
- 12月 7日 西区支部忘年会
- 12月 9日 会員面談
- 12月11日 (県) 保険部常任委員会
- 12月13日 定例委員会

- 12月18日 入会後面談(河島紘太郎先生)
- 12月22日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー  
休日診療保険請求における留意事項に  
ついて

## (2) 学術部 (花岡理事)

- 12月 5日 第2回学術講演会(シリーズI)
- 12月13日 定例委員会
- 12月22日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

## (3) 厚生部 (谷理事)

- 12月 4日 クリスマスパーティー配席検討会
- 12月 5日 第2回学術講演会(シリーズI)
- 12月 8日 三師会対抗ゴルフコンペ
- 12月10日 定例委員会
- 12月11日 クリスマスパーティー抽選会景品買い  
出し
- 12月17日 南区医療介護連携対策連絡会

## (4) 地域歯科保健部

- 12月11日 (県) 地域保健部、学校保健部、介護・  
福祉医療部常任委員会
- 12月19日 広島市歯科医師会後期高齢者歯科健診  
研修会
- 12月20日 定例委員会
- 12月22日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

## <学校保健> (有馬理事)

- 12月 3日 広島市学校保健会平成31年度会報編集  
委員会
- 12月10日 (県) 第3回保育施設での歯科疾患及び  
歯科保健活動の実態調査会議
- 12月17日 南区医療介護連携対策連絡会  
・令和元年度臨時健康診断及び就学時  
健康診断について  
・歯鏡等の滅菌配送業務について  
・令和2年度学校歯科医協議会について  
・広島市立学校での歯科保健状況調査  
(所謂、「口腔崩壊」調査)について  
・令和元年度保育施設での歯科疾患及  
び歯科保健活動の実態調査会議につ  
いて  
・令和元年度学校保健統計調査速報値  
について

## <地域保健> (若林理事)

- 11月28日 広島市障害者差別解消条例(仮称)制定  
に向けた意見交換会

- 12月 5日 第2回学術講演会(シリーズI)

## <地域連携> (藤田理事)

- 12月 7日 広島市医療介護連携推進事業講演会並  
びに懇親会
- 12月 8日 三師会対抗ゴルフコンペ
- 12月10日 広島市在宅医療介護連携推進委員会  
「摂食嚥下・口腔ケア」専門委員会
- 12月11日 広島市西区中広圏域多職種連携会議
- 12月12日 広島県西部保健所主催地域包括ケア強

- 化推進事業研修会(講師として参加)
- 第2回広島市地域包括支援センター運営協議会
- 12月13日 広島市中区看護協会主催誤嚥性肺炎予防のための多職種連携シンポジウム打合せ会
- 12月14日 広島市中区看護協会主催誤嚥性肺炎予防のための多職種連携シンポジウム(講師として参加)
- 12月16日 広島市圏域地域包括支援センター運営協議会委員懇談会
- 12月19日 広島市歯科医師会会員対象後期高齢者歯科健診研修会(講師として参加)
- 12月20日 定例委員会

**(5) 広報部(水内理事)**

- 12月3日 校正委員会
- 12月5日 第2回学術講演会(シリーズI)
- 12月11日 南区支部忘年会及び長寿を祝う会
- 12月16日 FMちゅーピー収録
- 12月17日 情報調査委員会・広報部忘年会
- 12月22日 広島市歯科医師会クリスマスパーティー

**FMちゅーピー(新聞掲載)**

- 1月15日 「神経を取った歯はどうなる？」  
広島市歯科医師会  
中川誠氏
- 1月26日 「母と子のお口の健康」  
広島市歯科医師会  
石田一輝氏

**(6) 広島市歯科医師会ホームページについて**

ホームページアクセス数  
一般サイト 訪問者 1,644 (累計 139,824)  
ページビュー 8,035 (累計 468,315)  
会員サイト 訪問者 175 (累計 28,577)

ページビュー 735(累計 214,908)  
広報部 … Talking Heads<最新情報>  
掲載件数 79件(11/16~12/20)

**(7) 特別委員会**

**(8) 救急蘇生委員会**

**(9) 歯科医療安全相談**

- 12月7日 相談 入れ歯について(70歳代男性)
- 12月12日 相談 再根治再補綴について(70歳代男性)
- 12月19日 相談 スタッフの対応について(30歳代女性)

**「協議事項」**

- (1) 会費について(2名)  
終身会員資格取得による会費額変更について1名承認。診療所状況変更による会費額変更について1名承認。
- (2) 入会について(1名)  
南区支部1名継続審議中
- (3) 広島市医療安全支援センター相談対応の4地区周知について  
内容について協議・確認
- (4) 学術講演会参加資格について  
継続審議
- (5) 令和2年新年互礼会について  
内容について協議・確認
- (6) 広島HOMEテレビ来年度広報事業について(協議会)  
内容について確認
- (7) その他

**「その他」**

特になし

**会員の皆様へ**

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: [hiroshima@dentalpark.net](mailto:hiroshima@dentalpark.net)

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: [mizuuchi.shika@gmail.com](mailto:mizuuchi.shika@gmail.com)

**広島市歯科医師会ホームページ**

<http://www.hiroshima-da.com/>

**会員専用ページ**

**ユーザー名 : Futaba**

**本会PASS : 2622662**

**協議会PASS : welfare**

**広島市歯科医師会の住所及び連絡先**

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

投稿記事締め切りは**毎月25日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

